

2023.10.02

PeaceNow!Okinawa 2023

概要

日程：2023年9月5日(火)～9月7日(木)
 GL集中を9月4日(月)に実施
 場所：沖縄県水産会館・沖縄県南部地域
 人数：26会員生協71名(運営参加を含む)
 (参加者内訳)



弘前大(2)、岩手大(3)、盛岡大(1)、岩手県立大(2)、山形大(3)、東北大(4)、東北学院大(2)、東北工業大(2)、宮城教育大(3)、宮城大(2)、福島大(2)、日本女子大(2)、名古屋工業大(1)、愛知教育大(2)、福井大(1)、立命館大(1)、奈良女子大(3)、大阪経済大(1)、近畿大(2)、関西学院大(1)、岡山大(1)、福岡女子大(1)、長崎県立大佐世保校(1)、宮崎大(1)、琉球大(2)、沖縄大(1)ブロック(15)、実行委員(5)、大学生協連(4)

セミナーテーマ

【全体テーマ】

私がつなぐ・あなたと広げる未来のバトン
 ～平和を伝えていくのはわたしたちの1歩から～

【オキナワテーマ】

- ・オキナワを見て、当時の人の想いを感じる
- ・学びや交流を通して、自分の平和観の軸を持つ
- ・PeaceNow!で見つけたきっかけを通して、平和のために行動する

企画内容

00 慰霊の日祈念式典からオキナワを知る

【事前学習会】8/10(木) オンライン開催

8/10にオンライン上で事前学習会を行いました。アイスブレイク・PeaceNow!の紹介の後、沖縄戦の簡単な紹介と、「慰霊の日」の式典視聴を行いました。

「ヒロシマ・ナガサキの原爆の日を知っているが、オキナワにも慰霊の日があることは知らなかった」「式典の動画をすべて見たい」という声がたくさんあり、PeaceNow!Okinawa当日に向けて学ぶ姿勢が高まっていました
 当日もこのメンバーでしっかり学びあいましょう！



沖縄戦について深く学んだことがなかったので、事前に基本的なことを学べてよかった。
 (福岡県立大 3年)

式典を見てみて…

- 沖縄の式典見たことありましたか？
- 印象に残ったフレーズはありますか？
- PNIO当日にどんなことを知りたいですか？

交流してみよう！



20 min

沖縄の想いや課題が詰まっているスピーチに気持ちが新たにになりました。
 (弘前大 職員)

01 PeaceNow!Okinawa開始！ 3日間のスタートを切ろう

【開会式】

開会式では、実行委員長・企画局長のあいさつと事務局次長からの事務諸注意がありました。開会式の中では「PeaceNow!Okinawaの意気込み」を書いてもらいました。PeaceNow!Okinawaを終えた後、どのような変化があるか楽しみです！

実行委員長挨拶



事務諸注意



企画局長挨拶



A.あなたにとっての平和とは？

Q.明日のことを当たり前に考えられること。あと、自分がよく知らない、自分とは違う人たちのことを受け入れて尊重できる状況。
(近畿大1年)



02 みんなの「オキナワ」の イメージをアウトプット！

【企画①】 沖縄を観る

アイスブレイクを行った後、PeaceNow!Okinawaという言葉を紐解き、「なぜ沖縄で平和学習を行うのか」について考えました。観光地として国内外から多くの人々が訪れている沖縄ですが、78年前に悲惨な戦いがあったことを忘れてはいけません。「自分にとっての平和」をグループ内で共有し合い、FWIに行く前に気持ちを高めました。

03 沖縄を感じる。 2日間にわたるフィールドワーク

【フィールドワーク】 沖縄県南部地域

PeaceNow!Okinawaのメインはフィールドワーク。バスを使って沖縄県南部地域の各地を回りました。オキナワを見て、聞いて、感じることができました。

2日間を通してたくさんの想いを聞くことができました。晴天にも恵まれてあっという間の時間でした。



対馬丸記念館



疎開のため多くの子どもを載せた対馬丸が撃沈され、たくさんの方が亡くなった事件を語り継ぐ記念館です。当時の子どもの生活の様子なども知ることができました。

前田高地陣地(ハクソー・リッジ)



沖縄戦最大の激戦地となった場所の1つです。日本軍の猛攻があった土地でもあります。ここでの戦いは「ハクソー・リッジ」という映画にもなっており、多くの人に当時の様子を伝えています。

嘉数高台



前田高地陣地と同じく激戦地となった場所です。オキナワで最も苦しかった戦闘の1つともいわれ、米軍は嘉数高地のことを「忌々しい丘」と呼んでいたそうです。敵から身を隠すトーチカ(写真右)などの戦跡を見ることができます。丘の上には地球をモチーフにした展望台(写真左)があり、普天間基地を眺めることができます。普天間基地は沖縄の住宅街の真ん中にあり、多くのオスプレイが配備されている様子を見ることができます。現在も、日本にある米軍基地のうち、70%が沖縄に集中しています。

旧海軍司令部壕



日本海軍の司令部として活用された場所で、激しい戦闘が繰り返されました。司令官や参謀が戦況の分析や作戦の決定を行うための拠点としての役割を担いました。展示室では海軍司令部で起きた沖縄戦の経過を知ることができました。また実際に壕の中を歩き、当時の日本軍の環境などを実際に感じました。とても劣悪な環境の中で米軍との戦争が行われていたことを知りました。戦争の悲劇を振り返りながら国際的な協力や平和の大切さを考えることができる場所です。

ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念館

ひめゆりの塔とは、沖縄戦で亡くなったひめゆり学徒隊の慰霊碑です。学徒隊の体験談を伝えるひめゆり平和祈念資料館も併設されています。私たちと同じような学校生活を送っていた彼女達は、戦争によってその生活を完全に奪われました。彼女たちは看護要員として戦地の中心で働き続けました。1945年6月18日、日本軍から解散命令が出た後も、生徒たちは散り散りになりながら米軍に追いかかれ、南に追い詰められたのちに多くが悲惨な最期を遂げました。資料館見学の前には、実際に沖縄戦を体験した方のビデオ講話を聴きました。「自分が教えられたことと現実とは全く違った、無知というのは本当に恐ろしい」という言葉がとても印象に残りました。



沖縄平和祈念資料館・沖縄県営平和祈念公園



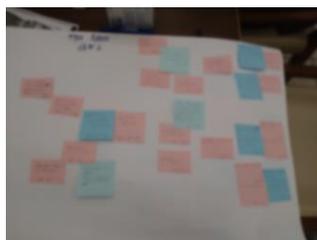
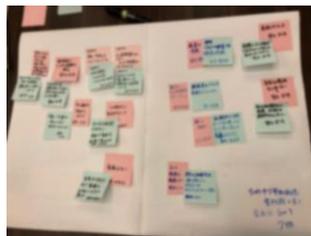
沖縄平和祈念資料館は「沖縄戦の歴史的教訓を時代に伝え、恒久平和の樹立に寄与する」という目的のもと開館しました。2階の常設展示室は「住民の視点でとらえた沖縄戦」を理念に、沖縄戦への道・鉄の暴風・地獄の戦場・沖縄戦の証言・太平洋の要石という5つのテーマからなる展示があります。合わせて、沖縄戦後の沖縄の歩みも知ることができました。平和祈念公園は「沖縄終戦の地」とである糸満市摩文仁の丘を南に臨み、多くの戦没者墓苑や慰霊碑などが建立されています。公園中心部にある「平和の礎」には、沖縄戦における全戦没者24万人あまりの氏名が刻まれています。広場中央には「平和の火」が灯され、今日も恒久平和を訴え続けています。

04 フィールドワークの学びを アウトプット！オキナワの イメージはどう変わった？

【企画②】オキナワを見て

2日間にわたるFWを終え、それぞれの箇所で感じたことを班内でアウトプットしました。どの場所もたくさんの付箋が出て、現地を見ることで様々なことを感じることができました。

そのあとは、企画①で考えた沖縄のイメージを改めて考え直しました。多くの参加者がオキナワを見ることで新しい視点を獲得できました！獲得目標達成ですね🎯



「沖縄で地上戦があった」という言葉のみの認識が、話を聞いたり写真を見ることを通して、イメージと結びつき、辛いなあと思った。(福島大・2年)

復興し終わり発展しているイメージがあったが、今でもまだ石碑に名前を刻まれる人達も多くおり、戦争の傷跡はまだ残っていると感じました。(東北大・2年)



05 物事を見る視野を上げよう！ 私たちの周りで何が起きてる？

【企画③】 視野を広げる時間

この時間は、物事を多角的に見ることの大切さについて学びました。戦争体験者の方の「無知の恐ろしさ」という言葉などをもとに、視野を広げることの大切さがわかりました。

また、私たちの身近にある「Not平和」についてみんなで出しあい、考えました。沖縄で学んだこと・感じたことが現在にもつながっている、ということ共有しあえました！



【身近なNot平和は？】

- ・病気や怪我をすること
- ・いじめ
- ・物価高騰
- ・原子力発電所の処理水問題
- ・格差社会(学歴、収入、ルックスなど)
- ・もらえるかわからない年金を払いたくない

etc

Q.あなたにとっての平和とは？
A.衣食住が確保され、自由意思で行動ができ、将来に関して考える余裕を持ち続けられていること。
(山形大 職員)



06 自分たちはどう行動する？ 3日間の学びをつなげよう！

【企画④】 平和とは

企画④の時間では、これまでの学びを振り返りながら平和に対する考え方をアウトプットし、その考えを実現するために実際にどう行動していくかを考え、宣言しました。

「平和に対する考え方は1つではなくいろいろな形がある、だからこそみんなで伝え合っていくことが大切なんだ！」ということをもみんなで共有しあえました。

自大学・自地域に帰ってもこの学びを続けたいと思います！

07 仲間との思い出を忘れずに！ 2泊3日終了です

【閉会式】

企画局長から「私たちは戦争体験者からお話を聞ける最後の世代。78年間に何があったかを忘れずに、これからも多くの人々に伝えてほしい」という話がありました。

最初にした意気込みと今の自分を見比べる時間もとられました。2泊3日の間で学んだことを忘れず、これからは生活の中で関心を持ち続けていきましょう！



自分のメモや写真だけでは足りない部分の知識を、自ら調べてさらに知識を増やし、それを友達に少しでも話し、興味をもってもらう。
(日本女子大学 2年)



+ α 久しぶりの2泊3日開催！ たくさんの笑顔が溢れました

【オフショット】

3日間を通して、多くの参加者の笑顔が溢れていたことがとても印象的でした。離れていても私たちはPeaceNow!Okinawaでつながった仲間！これからもともに高めあっていきましょう！

GLの皆さんも円滑な進行ありがとうございました！

編集後記【PN!O実行委員より】

PeaceNow!Okinawa2023へのご参加、ありがとうございました。特に大きなトラブルもなく皆さんに学びを届けられたこと、大変うれしく思います。

3日間の学びを通して、何が1番印象に残っていますか？オキナワ「から」学びを広げることではできそうでしょうか？参加者の皆さんが平和を広げる「きっかけ」をつかみ、周りの多くの人に伝え、広げ続けていってもらえると幸いです。

「知り・知らせ・考え・話し合い・行動する」という視点を忘れずに、みんなの考える理想の未来の実現に向けてできることから始めていきましょう！

